

第4次府中市生涯学習推進計画の基本目標について

1 ステップ2(第6回)の検討内容について(第5回~7回の議論を経て基本目標を固める)

計3回の審議会(第5~7回)の議論を経て、基本目標をおおむね固めます。

ステップ1では、検討すべき方向性のポイントを共有し、計画の建付けについて検討して頂きました。

協議結果を踏まえ、基本理念と基本目標を統合します。基本理念は基本目標の中に織り込まれます。

ステップ2では、主要課題の整理を踏まえ計画課題を共有し、計画の根幹となる考え方を整理します。

ステップ1(第5回) 検討すべき方向性のポイントを共有

⇒主要課題の整理(資料10)、これまでの取組の振り返り、基本理念・基本目標の建付けの検討

ステップ2(第6回) 主要課題の整理(続き)、計画課題の共有(重点課題の設定)、計画の根幹となる考え方の整理、計画に位置付ける時代に対応したキーワード

ステップ3(第7回) ステップ1~2を踏まえ素案(たたき台)を基に基本目標・基本施策・重点事項を協議

ステップ1(第5回)

- ・検討すべき方向性のポイントを共有
- ・一主要課題の整理
- ・一これまでの取組を振り返る
- ・一基本理念・基本目標の建付け検討

ステップ2(第6回)

- ・主要課題の整理(続き)
- ・計画課題の共有(重点課題)
- ・計画の根幹となる考え方の整理
- ・計画に位置付ける時代に対応したキーワードの共有

ステップ3(第7回)

- ・ステップ1~2からたたき台を基に協議
- ・基本目標の議論
- ・基本施策・重点事項等の議論

ステップ2

■主要課題の整理-生涯学習における主要課題を多角的に整理(A~F) ⇒資料4参照

- A：生涯学習をめぐる動向（社会潮流・上位計画等）からの留意事項
- B：府中市及び生涯学習の現況（市の状況（人口・施設利用状況等））からの課題
- C：第3次計画の達成状況（施策・事業の進捗状況）及び審議会グループワークからの課題
- D：第11期府中市生涯学習審議会答申からの課題（令和7年2月）
- E：令和7年度第5回審議会からのご意見
- F：市民意向（市民アンケート、団体ヒアリング）からの課題 ⇒資料2 資料3

■計画課題の共有(重点課題)－検討項目1 ⇒本資料

○上記のA~Fを踏まえた計画課題(重点課題)について検討いただきます。

「基本施策1 誰もが学べる環境づくり【新たな参加の促進・多様な市民層・気軽に参加できる環境】」の重点課題

「基本施策2 誰もが活躍できる環境づくり【生涯学習と地域還元・人材育成・活躍の場の拡大】」の重点課題

「基本施策3 生涯学習を支える基盤の整備【生涯学習の広報・施策、事業の連携・推進機能・施設】」の重点課題

■計画の根幹となる考え方の整理－検討項目2 ⇒本資料

○基本目標に盛り込む内容として検討いただきます。(統合した基本理念部分も適宜盛り込む)

■計画に位置付ける時代に対応したキーワードの共有－検討項目3 ⇒本資料

○基本目標のスローガンに盛り込むキーワードを検討いただきます。

検討項目1 ■計画課題の共有(重点課題)-主要課題から次期計画に求められる重点課題(案)

<p>「基本施策1 誰もが学べる環境づくり【新たな参加の促進・多様な市民層・気軽に参加できる環境】」の主要課題</p> <p>○人口分布や施設立地の偏り、講座の時間帯や情報不足などにより、地域や世代、ライフスタイルによる学習機会へのアクセスに差が生じている。特に、若年層や働く世代、子育て世代、障害のある人、外国人など、多様な市民が参加しやすい環境の整備が十分とは言えない状況にある。現在学んでいない人も含めて新たに参加できるきっかけづくりや、人生100年時代を見据え、ライフコースに応じて多様な世代が身近で気軽に集い学べる環境の充実が求められている。</p> <p>○デジタル化の進展等により個人でのオンライン学習志向が強まる一方、将来の意向として生涯学習関連の施設などでの対面による学びへのニーズも高まっている。リカレント教育、デジタルリテラシー向上などの社会的動向を踏まえつつ、学習へのアクセス向上の観点からも、生涯学習分野におけるデジタル技術の活用や、デジタル技術を使いこなすための学び、また、オンラインと対面を組み合わせたハイブリッド型の学習環境の整備を推進していく必要がある。</p> <p>○生涯学習の意義や、その効果に対する理解が市民に十分浸透していない中で、既存制度の活用も限定的となっている。このため、市民の主体的な学びを支える上で、各施策や制度の周知の充実と時代に即した見直しを進めていく必要がある。</p>
<p>「基本施策2 誰もが活躍できる環境づくり【生涯学習と地域還元・人材育成・活躍の場の拡大】」の主要課題</p> <p>○身に付けた知識・経験を、仲間内や、地域・社会で生かしたいという意向は一定程度あるものの、実際に活動につなげる仕組みは十分に整っていない。「学び返し」の概念も十分に浸透しておらず、自然発生に任されている状況にある。学びたい人と成果を生かしたい人をつなぐコーディネート機能の強化や、気軽に相談・交流できる場の整備など、学びと実践を循環させる仕組みづくりが求められる。</p> <p>○地域活動や生涯学習を支える担い手について、サポーター登録者数の減少や、団体における担い手不足・高齢化が進んでいる。また、ファシリテーターやサポーターなどの役割が分かりにくく、制度の認知や活用も十分とは言えないことから、周知啓発の強化が求められる。若い世代や子育て世代など潜在的な担い手層を含め、幅広い世代の参画を促すきっかけづくりを進めるとともに、市内の学習資源(人や組織)の発掘を図ることが重要となる。</p> <p>○地域、団体、学校、大学、企業、行政などが連携し、生涯学習を共通の視点として市民の活躍を支える体制が求められている。より地域において学びを支え、展開していくためには、コミュニティ・スクール(府中市版CS含む)との連携も含め、分野や組織の枠を超えた連携の強化が求められる。また、団体同士のつながりや情報共有、相談体制の不足により、活動が個別・断片的になりがちであることから、団体やボランティアを継続的に支える協働の仕組みづくりも進めていく必要がある。</p>
<p>「基本施策3 生涯学習を支える基盤の整備【生涯学習の広報・施策、事業の連携・推進機能・施設】」の主要課題</p> <p>○新生涯学習センターの整備を契機として、生涯学習センター、文化センター、図書館、博物館、美術館、芸術劇場、市民活動センター、男女共同参画センター等の各施設間及び学校・大学・企業を含めて連携体制を強化し、学びのネットワークを深めることで、若い世代を含む多様な市民による新しい学習グループを形成していくことが求められる。</p> <p>○人口構成の変化や利用ニーズを踏まえた施設間の機能格差の把握と改善、拠点施設の連携など、持続可能な学びの拠点づくりとして機能の最適化を進めていく必要がある。また、交通利便性の低い地域への配慮や、デジタル環境の整備を進めるなど、誰もが学びにアクセスできる基盤づくりが重要となる。さらに、学びに関する相談を受けられる体制や、活動につなぐための案内・伴走支援など、学びの入口から実践までを支える相談支援機能の充実も求められている。</p> <p>○生涯学習に関する情報発信が十分に行き届いておらず、「知らないから参加できない」層が一定数存在している。市のホームページや生涯学習関連サイトの充実に加え、SNSの活用、多言語対応ややさしい日本語による発信など、多様な市民に届く情報提供の強化が求められる。</p> <p>○地域や世代を問わず、誰もが安心して学び・活動できる場が十分に確保されているとは言えず、特に、子どもや中高生が放課後や余暇に利用できる安全で無料の居場所の不足や、障害のある人、外国人など多様な市民が参加しやすい環境整備が十分とは言えない状況にある。新生涯学習センターの整備を契機に、「学ぶ場」にとどめず、人と人がゆるやかにつながり、安心して過ごせる居場所としての機能も重視し、誰一人取り残さない視点に立った包摂的な学習環境づくりを進めていくことが求められる。</p>

<p>検討項目1</p>
<p>重点課題(案)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ☆学習機会の地域格差の解消に向けた取組 ☆学んでいない人を含めて参加できるきっかけづくり ☆多様なライフステージ・ライフコースに対応するコンテンツ
<ul style="list-style-type: none"> ☆オンラインと対面のハイブリット型学習環境の整備 ☆デジタル技術を使いこなすための学び ☆新たな参加者・若い世代の参入の仕組みづくり
<ul style="list-style-type: none"> ☆生涯学習施策・制度の徹底的な周知 ☆市民の主体的な学びを支える時代に即した施策の見直し
<p>重点課題(案)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ☆学びたい人と成果を生かしたい人をつなぐコーディネート機能の強化 ☆学びと実践を循環させる仕組みづくり
<ul style="list-style-type: none"> ☆活動団体の維持・継続(高齢化・会員減少への対応) ☆活動への参加を促すきっかけづくり(潜在的な担い手) ☆市内の学習資源(人や組織)の発掘(社会教育人材)
<ul style="list-style-type: none"> ☆地域、団体、学校、大学、企業、行政などの連携による活動支援 ☆コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の連携 ☆団体やボランティアを支える協働の仕組みづくり
<p>重点課題(案)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ☆生涯学習施設等の連携体制による学びのネットワークづくり ☆多様な市民による新しい学習グループの形成(多様な学びのコミュニティ)
<ul style="list-style-type: none"> ☆ハブ機能の強化-持続可能な学びの拠点づくり ☆利用度向上のための交通利便性やデジタル環境の整備(アクセシビリティ) ☆コンシェルジュ機能の強化-案内・伴走
<ul style="list-style-type: none"> ☆確実に届ける情報発信機能の強化 ☆多様な市民に届ける視点をもった情報発信
<ul style="list-style-type: none"> ☆誰もが利用できる学びを通じた居場所づくり ☆誰一人取り残さない視点に立った包摂的な学習環境づくり

- 検討項目 2 ■計画の根幹となる考え方の整理(基本理念を織り込んだ基本目標に反映)
- 検討項目 3 ■計画に位置付ける時代に対応したキーワード(基本目標スローガンに反映)

■第 5 回審議会での決定事項

基本目標

パターン② パターン② 基本目標のみ(基本目標に基本理念を統合)

例えば… 多様性のある学びで 人と地域が磨かれるまち など

※第5回審議会において、現計画の基本理念と基本目標を統合することが確認されました。



■第4次生涯学習推進計画の構成イメージ

今回は実際に基本目標を検討していきます。

事前配付したワークシートと本資料を参照し、検討項目2として「基本目標に盛り込みたい考え方」(例えば主要課題、重点課題、これまでの取組等から)、検討項目3として「基本目標に盛り込みたいキーワード(スローガン)」を検討いただきます。

ワークシート

基本目標

■計画の根幹となる考え方■

検討項目 2 考え方 基本目標に盛り込みたい考え方を検討

主要課題・重点課題、これまでの取組などから

■計画に位置付ける時代に対応したキーワード■

検討項目 3 キーワード 基本目標のスローガンに盛り込みたいキーワードを検討

例えば… 多様性のある学びで 人と地域が磨かれるまち など

施策の体系

《基本施策》

基本施策 1 ○○○○○○○○○○
 基本施策 2 ○○○○○○○○○○
 基本施策 3 ○○○○○○○○○○
 …

第4次計画の「基本施策」については第7回審議会において検討予定です。

重点項目